

## 残留農薬検査(その4)

当所では、横浜市内に流通する農作物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より一農作物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。

今回は、平成24年12月から平成25年2月までに食品専門監視班より搬入された農作物の検査結果を報告します。

### 1 市内産農作物

2月に搬入されたこまつな9検体について検査を行いました。その結果、農薬が検出されたものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表1に示しました。

表1 農薬の検査項目及び検出限界(114項目)

農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)
BHC(α、β、γ及びδの和)	0.005	シハロトリン	0.01	フェニトロチオン	0.01
DDT(DDE、DDD及びDDTの和※)	0.005	シフルトリン	0.01	フェンクロルホス	0.01
EPN	0.01	シペルメトリン	0.01	フェンスルホチオン	0.01
アクリナトリン	0.01	ジメチルビンホス	0.01	フェンチオン	0.01
アセタミプリド	0.01	ジメエート	0.01	フェントエート	0.01
アゾキシストロビン	0.01	シメトリン	0.01	フェンバレレート	0.01
アルドリン及びディルドリン	0.005	スルプロホス	0.01	フェンピロキシメート	0.01
イソフェンホス	0.01	ダイアジノン	0.01	フェンプロパトリン	0.01
イソプロカルブ	0.01	チアクロプリド	0.01	ブタクロール	0.01
イプロベンホス	0.01	チアメキサム	0.01	ブタミホス	0.01
イミダクロプリド	0.01	チオベンカルブ	0.01	ブプロフェジン	0.01
インドキサカルブ	0.01	チフルザミド	0.01	フルジオキソニル	0.01
エスプロカルブ	0.01	テトラクロルビンホス	0.01	フルシトリネート	0.01
エチオン	0.01	テトラコナゾール	0.01	フルトラニル	0.01
エトプロホス	0.005	テトラジホン	0.01	フルバリネート	0.01
エトリムホス	0.01	テブコナゾール	0.01	フルフェノクスロン	0.01
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	テブフェノジド	0.01	プロシミドン	0.01
エンドリン	0.005	テブフェンピラド	0.01	プロチオホス	0.01
オキサミル	0.01	テフルトリン	0.01	プロパホス	0.01
カズサホス	0.01	テフルベンズロン	0.01	プロピザミド	0.01
カフェンストロール	0.01	デルタメトリン及びトラロメトリン	0.01	プロメカルブ	0.01
カルバリル	0.01	テルブホス	0.005	ブromoプロピレート	0.01
クレソキシムメチル	0.01	トリアジメノール	0.01	ヘキサコナゾール	0.01
クロチアニジン	0.01	トリアジメホン	0.01	ヘキサフルムロン	0.01
クロマフェノジド	0.01	トルクロホスメチル	0.01	ヘプタクロル(エボキントを含む)	0.005
クロルピリホス	0.01	パラチオン	0.01	ペルメトリン	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	パラチオンメチル	0.01	ペンコナゾール	0.01
クロルフェナピル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01	ホサロン	0.01
クロルフェンゾン	0.01	ビフェントリン	0.01	ボスカリド	0.01
クロルフェンビンホス	0.01	ピペロホス	0.01	マラチオン	0.01
クロルプロファム	0.01	ピラクロストロビン	0.01	ミクロブタニル	0.01
クロロクスロン	0.01	ピリダフェンチオン	0.01	メチダチオン	0.01
シアノフェンホス	0.01	ピリブチカルブ	0.01	メキシフェノジド	0.01
シアノホス	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	メトラクロール	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	メビンホス	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	ピリミホスメチル	0.01	リニューロン	0.01
ジクロラン	0.01	ピリメタニル	0.01	リンデン(γ-BHC)	0.002
ジコホール	0.01	フェナリモル	0.01	ルフェヌロン	0.01

※ DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

## 【今年度のまとめ】

平成24年度の検査はすべて終了しました。今年度、残留農薬が検出された農作物の検査結果を表2に示しました。市内産農作物68検体中14検体、国産農作物7検体中3検体、輸入農作物30検体中20検体から計28項目の農薬が検出されました。このうち基準値を超えて検出されたものは1検体で、かぶの葉からルフエヌロンが0.05ppm(一律基準値0.01ppm)検出されました。

基準値を超えて検出されたものについては、食品衛生課で調査を行っています。

表2 残留農薬検出結果 (H24年4月～H25年2月)

農作物	産地	検出農薬名	検出値(ppm)	基準値(ppm)
<b>市内産農作物</b>				
トマト	横浜市	イミダクロプリド	0.01	2
		フルバリネート	0.04	0.5
		ボスカリド	0.22	5
こまつな	横浜市	フルフェノクスロン	0.06	10
ほうれんそう	横浜市	イミダクロプリド	0.02	15
		テフルトリン	0.01	0.5
		トルクロホスメチル	0.02	2.0
		フルフェノクスロン	0.07	10
かぶの葉	横浜市	ルフエヌロン	0.05	*0.01
きゅうり	横浜市	チアメトキサム	0.03	0.5
		ホスチアゼート	0.02、0.03	0.2
なす	横浜市	アゾキシストロビン	0.01	3
		クロチアニジン	0.11	1
		クロルフェナピル	0.02、0.08	1
		チアメトキサム	0.02	0.5
日本なし	横浜市	クレソキシムメチル	0.02、0.16	5
		クロチアニジン	0.01、0.02	1
		クロルフェナピル	0.02	1
		テブコナゾール	0.23	5
		フェンプロパトリン	0.24	5
ぶどう	横浜市	アゾキシストロビン	0.04	10
		イミダクロプリド	0.16	3
		クロルフェナピル	0.21、0.39	5
		チアメトキサム	0.22	2
		ペルメトリン	0.19、0.39	5.0
<b>国産農作物</b>				
セロリ	長野県	アゾキシストロビン	0.19	30.0
		イミダクロプリド	0.02	4
		クレソキシムメチル	0.43	30
		クロルフェナピル	0.77	3
		チアメトキサム	0.01	0.7
みず菜	茨城県	フルフェノクスロン	0.20	10
にんじん	北海道	プロシミドン	0.11	0.5

\*0.01 : 一律基準値

表 2 残留農薬検出結果 (続き)

農作物	産地	検出農薬名	検出値(ppm)	基準値(ppm)
輸入農作物				
アボカド	メキシコ	シハロトリン	0.05	0.5
アメリカンチェリー	アメリカ	イミダクロプリド	0.03	2
		カルバリル	0.04	10
		ボスカリド	0.04	3
オレンジ	アメリカ	クロルピリホス	0.28	1
	オーストラリア	クロルピリホス	0.06、0.09	1
		メチダチオン	0.26	5
	南アフリカ共和国	ピラクロストロビン	0.02	1
		ピリプロキシフェン	0.06	0.5
		ピリメタニル	0.08	15
かぼちゃ	メキシコ	イミダクロプリド	0.01、0.03	1
		エントスルファン( $\alpha$ 、 $\beta$ の和)	0.007	0.5
		マイクロブタニル	0.01	1
グレープフルーツ	南アフリカ共和国	アゾキシストロビン	0.04	2
		クロルピリホス	0.03	1
		ピラクロストロビン	0.01、0.02、0.02、 0.03、0.03	1
		ピリプロキシフェン	0.03、0.05、0.05	0.5
	アメリカ	ピリプロキシフェン	0.04	0.5
		フェンプロパトリン	0.04	5
パプリカ	韓国	クロルフェナビル	0.15	1
		ピラクロストロビン	0.02	0.5
		プロシミドン	0.05	5
		ボスカリド	0.07	10
		ルフエヌロン	0.04	1
	オランダ	メトキシフェノジド	0.01	3
	アメリカ	クロルピリホス	0.03	1
		フルジオキサニル	1.8	10

【 検査研究課 微量汚染物担当 】